

平成28年度 学校評価実施報告書

幼稚園名(京都市立明徳幼稚園)

1 1回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
評価項目	(前年度評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標	
保育の改善・充実	・遊びが充実するための環境構成や援助の検討・実践。 ・週案の充実、評価を生かした有効な活用と積み上げ	・幼児の心の動きをとらえた事例研究。 ・「子どもは自分で好きな遊びを見つけていますか」	
幼小接続の視点	・「親子絵本ノート」の活用の見直し絵を含めた有効な利用。 ・小学校との交流や連絡会の充実。	「親子絵本ノート」の活用度を定期的に検証する。 ・「絵本を見ることを楽しんでいますか」	
心と体・生活習慣	・家庭との連携をしながら、個々に応じた援助をし、生活習慣の定着を図る。 ・体を動かす心地よさを感じます。	・生活習慣の週案への明記。 ・運動遊びを保育に取り入れる。 ・生活習慣の家庭での様子。	
信頼関係・折り合い・自己肯定感	・信頼関係を基盤とした自己有用感。 ・発達に応じた葛藤体験。	・幼稚園に喜んで登園しているか。安心して、生活しているか。 ・友達と遊ぶことを喜んでいるか。	
学校運営協議会「どんぐりーず」のさらなる活用	・園行事・保育の流れとの兼ね合いを考えた年間計画の立案と有効な運用。	・「学校運営協議会“どんぐりーず”との連携した幼稚園の行事に喜んで参加していますか。」 ・地域との連携の推進。	
子育て支援の推進	・教育相談の取組の充実。 ・地域の子育て支援センターとしての役割の充実と情報発信。	・ほっこり子育て広場の実施回数(在園児) ・教育相談の参加人数。	
預かり保育の充実	・指導計画の作成・見直し ・参加人数。	・記録等による連携。 ・「喜んで参加していますか」 ・保護者が「有効に活用できているか」	

・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価		学校関係者評価
	評価日	平成28年10月24日	
評価者・組織	教職員	評価者(いづれかに○)	○学校運営協議会 学校評議員
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策	学校関係者による意見
・「子どもが好きな遊びを見つけていますか」については、年長・年少とも「そう思う」「大体そう思う」で100%になる。 ・「親子で絵本を見るか」の、「楽しんでいるか」が、「そう思う」「大体そう思う」で年長96%、年少97%である。	魅力的な環境、意図的な環境について意識的にしている。そのことで好きな遊びを楽しむ姿につながっているのであろう。 「親子で絵本を見るか」は、活用されており、子どもの思いを聞きながら親子でゆったりと絵本を選ばれている姿もある。有効に活用されているかの検証が十分ではない。	今年度の園内研究のテーマを意識し、園内研究をさらに充実させ、実践していくように努力する。	・楽しんで園生活を送っている様子が見られる。 ・協力できることがもっとあるれば、サポートしてきたい。
・「友達と遊ぶことを喜んでいますか」との、「どう思う」「大体そう思う」で96%である。 ・「友達とのかかわり方の育ちが見られてきているところである。その姿にご理解いただい	・「友達とのかかわり方に、さらなる育ちのため、保育の様々な場面での事例研究、検証を今後も引き続き深めていく必要がある。	・「友達とのかかわり方に、さらなる育ちのため、保育の様々な場面での事例研究、検証を今後も引き続き深めていく必要がある。	・幼稚園が家庭との連携を深めていってほしい。 ・地域でも協力できることはしていきたい。
・「学校運営協議会“どんぐりーず”との連携した幼稚園の行事に喜んで参加していますか。」 ・地域との連携の推進。	・地域との連携がより保育や子どもの育ちに生かせるように、検証していく必要がある。	・運営協議会による様々な行事に喜んで参加していただき喜ばしい。	・さらに充実してけるよう協力してきたい。
・ほっこり子育て広場の実施回数(在園児) ・教育相談の参加人数。	・情報発信する機会・場を新たに増やしたこと、本園の子育て支援への関心が少しは増えた多のではと思う。しかし、参加者は微増なので方策を考える必要がある。	・ホームページでの発信のほかに、地域への直接的な発信など、より関心をもってもらえるよう方策を検討する。	・協議会としてできることはあれば積極的に取り入れていく。今後具体的に検討していく必要がある。
・記録等による連携。 ・「喜んで参加していますか」 ・保護者が「有効に活用できているか」	・子どもたちの喜んで参加している。保護者にとても有効である。1か月単位の申し込みが嬉しい方がある。保育とのつながりを生かすための担任との連携が課題である。	・参加者数は減っていることには憂慮する。方策を考える必要がある。 ・就労支援もあり大変だろうが、子どもも保護者も喜んで参加してもらっていることは有意義である。	・人員等協力できることがあれば、サポートしてきたい。

平成28年度 学校評価実施報告書

幼稚園名()

2_2回目評価

•個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 •取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
確かに学力・豊かな心・健やかな体	評価項目	(1回目評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・ 各種指標
	保育の改善・充実		
	幼小接続の視点		
	心と体・生活習慣		
園独自の項目	信頼関係・折り合い・自己肯定感		

3 総括・次年度の課題

